

「農福連携WEBセミナー」を受講しながら適宜お書きください。

あなたの農福連携への第一歩は？

どのような形で農福連携の取組に関わるのか、関わってみたいのか
取組みの中でご自身の果たす役割やお立場など

※既に農福連携に取り組んでいる人は、発展させていくために必要なことを書き込んでください。

Note

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



農福がはじめてのあなたに。

参加費
無料

**農福連携
WEBセミナー**

～農福連携のススメ～

参加
募集中

農福連携ってなに？

障害者等の就労の場の創出だけではなく、農業者の減少等の課題を抱える農業側にとっても、人手の確保や地域農業の維持・活性化等の効果があり、「農業」と「福祉」の双方の課題解決につながる取組として、様々な形で全国的な広がりを見せています。第1回目とは異なる講師陣を迎え、新たな視点・考え方を知るセミナーとなっております。この機会に「農福連携」を知ってみませんか？

セミナー内容

農福連携に興味のある方々に向け、【総論】【福祉団体】【農業者】【企業等】の各観点から、講師による基礎的な内容や具体的な事例までがわかるWEBセミナーを開催します。

- 1 **【総論】**
農業関係者、福祉関係者、障がい者、保護者目線からみた農福連携
酪農学園大学 (北海道江別市) 教授 義平 大樹氏 
- 2 **【福祉団体による取組】**
フラワーパッケージセンターの地域に密着した農福連携の取組
社会福祉法人ハイジ福祉会 (福岡県八女市) 施設長 山口 隆充氏 
- 3 **【農業者による取組】**
農業が果たす地域福祉への関わり方
株式会社耕野 (岩手県花巻市) 代表取締役 安藤 誠二氏 
- 4 **【企業による取組】**
「ありがとう」の気持ちを込めて～私たちの農福連携～
はーとふる川内株式会社 (徳島県板野郡北島町) 代表取締役社長 山田 圭吾氏 

開催日時 2023年 **8/22(火)** 13:00～16:00

応募期間 **7/25(火)～8/18(金)**
※応募者多数の際は先着順とさせていただきます。

場所 **WEB開催**
zoomURLは別途事務局よりご連絡いたします。
※リアルタイム視聴が難しい場合も、お申込み頂きますと、後日録画URLをお送りさせていただきます。

受講対象 農福連携に興味のある方全般、農業者、社会福祉法人、企業経営者・担当者 等 どなたでもお気軽にご参加ください！

申込方法 申込はこちら ▶▶▶ 
<https://forms.gle/UMRz77ybEY78Ue8M6>

お問い合わせ先
株式会社農都共生総合研究所
TEL **03-3868-0889**
E-mail noufuku@notosoken.jp
営業時間 10:00～18:00 ※土日祝・年末年始を除く

5 農林水産省からの情報提供

6 ワークシート&フィードバック
本セミナーで得た知識を整理し、考えを深めるためのワークと、義平氏によるフィードバックの時間をご用意しております。
※セミナーの内容は予告なく変更する場合がございます。



酪農学園大学(北海道江別市) 教授

義平 大樹氏

専門は麦や豆類を中心とする作物学。担い手不足を解消し農業を持続的に発展させるべく、農福連携の推進に注力している。北海道を中心とした農福連携に関する講演活動の他、研究成果を用いた福祉事業所とのコラボ商品の開発等を行なっている。

参加者の皆様へのメッセージ

農福連携は、農業者側、福祉事業所側双方にWinWinの関係をもたらす連携として普及してきました。これ自体は非常に素晴らしい連携活動であることは言うまでもありません。しかし、一般化して語られることはあっても、多様な障害者ご本人と、見守る保護者に焦点が当たることは比較的少ないです。障害者ご本人とその保護者にとっての農福ならではの利点と難点を整理し、(客観的な調査データは非常に少ないですが)一部の事例を参考に、現在の2方良しを維持しつつも、本来は3方(4方)良しを目指す連携に発展すべきであることを、微力ながら提言したいと考えています。



社会福祉法人ハイジ福祉会(福岡県八女市) 施設長

山口 隆充氏

2007年に社会福祉法人ハイジ福祉会を設立。2014年に就労継続支援A型「フラワーパッケージセンター」を立ち上げる。JAふくおか八女花き部会傘下の八女FPCガーベラ部・博多シンテッポウユリ部と外部委託契約を締結し農産物のパッケージ作業の受託事業を行なう。繁忙期には、就労継続支援B型事業所「八女作業所」、「第2八女作業所」が施設外就労として作業を行い、B型の工賃向上にも繋がっている。また、2016年には放棄農地の購入・借地により農地を確保して自営の農業を始め、ガーベラとミディトマトの生産販売を行なっている。本年も新たに農地(一部宅地含む)5,592㎡を取得し自社農場の拡大に取り組む。

商品紹介

ガーベラ

主に、除草・葉かき、温度管理、灌水・施肥(通年)、病虫害防除、収穫・出荷の作業を行なっている。



ミディトマト

主に、ほ場の準備、育苗、定植、施肥、かん水、栽培管理(誘引、摘果)、摘葉、病虫害防除、収穫を行なっており、当施設で栽培したフルティカトマト(ミディトマト)で作った「おいしいトマトソース」が商品化されている。



株式会社耕野(岩手県花巻市) 代表取締役

安藤 誠二氏

奥羽山脈の豊かな水源を生かし、水耕栽培でベビーリーフ等を生産している。障害者の施設外就労として農福連携を始め、現在では栽培工程全般に携わっている。日々、障害特性に応じた作業改善を行い、障害者が活躍できる環境整備を行っている。

商品紹介

葉物野菜

20種類ほどの発芽10～30日頃に収穫した野菜の若い芽を、「マイクロリーフ:草丈1～2cm」、「ミニリーフ:草丈5cm程度」、「ベビーリーフ:草丈10～15cm」の3種類の大きさに分けて商品を生産している。成長しきる前に収穫することから、柔らかく、ビタミンやミネラルなどが多く含まれており、色味や食味を活かして料理の彩りとして、主に飲食店等へ向けて生産されている。



ホワイトセリ



サンチュ



はーとふる川内(徳島県板野郡北島町) 代表取締役社長

山田 圭吾氏

2011年に設立された大塚製薬株式会社の特例子会社で、ノーマライゼーションの理念をもとに、「誰もが働き続けたい会社」を目指して活動している。ハウスでミディトマトの水耕栽培を行っており、生産したトマトは企業グループ社員食堂に利用されるほか、徳島生協等で販売される。2015年には、障がい者支援センターとの協働によるドライトマトの製造販売など、6次産業化を開始しており、2017年には「とくしま安2GAP農産物」認証を取得。2020年には中四国地区第一号で「ノウフクJAS」認証を取得し、障がい者が安心して働ける作業環境の整備にも取り組んでいる。

商品紹介

フレッシュトマト「はーとふるトマト」

与える水の量を丁寧に調整することで芳醇で豊かな味わいが特徴。障がいを持つ社員が一つ一つまごころと感謝の気持ちを含め大切に育てた安心安全なトマトです。



ドライトマト「愛さんさん」

朝に収穫したフレッシュな「はーとふるトマト」をその日のうちに地域の障がい者就労支援センターで加工・乾燥させることによりトマトの美味しさを濃縮しているため、スープ、ピザトースト、スパゲティなど様々な味わい方が可能。

